



堀 景 議員

西地区学校建設について

問 急速に少子化の波が打ち寄せている現状を踏まえて建設の必要性について問う。

答 本市の出生数が激減していることや昨今の建設資材高騰等により、事業費の拡大など新たな課題が見えてきた。出生数は令和元年度99名だったが令和5年度には65名と急激に減少している。造成費は約20億円、約32億円と高額な造成費が必要となっており、また、建設工事費は小中一体型2階建てで約60億円、小中分離平屋建ての場合は約108億円との試算である。今後、想定される児童・生徒数の減少に伴う学校の適正規模、適正配置や安全安心な施設の整備など、よりよい教育環境を目指すための学校再編計画の見直し等が必要であると考え

防災対策について

問 高砂地区から庁舎前まで結ぶ道路の整備の現状を問う。

答 本路線は宿毛警察署や県合同庁舎の高台移転に伴う交通量の増加、更には南海トラフ地震などの大規模災害発生時における重要な路線であることを踏まえ、早期の事業着手が必要であると判断し、本市が事業主体となり令和7年度に国へ交付金の要望を行い、令和8年度から事業に着手する予定である。

離島振興について

問 高知県離島振興計画に基づく令和7年度の計画と将来的な計画を問う。

答 沖の島の豊かな地域資源を活かした体験型観光イベントを沖の島観光協会と連携しながら実施する。PR用映像により情報発信を強化し、観光客を呼び込み交流人口の拡大を図るとともに、移動の利便性の向上として、グリーンスローモビリティの活用を開

始する。更に磯釣りやダイビングなどの海洋レジャー産業に注目が高まっているので、関西圏からの誘客促進に取り組み、今後も関係機関と連携し、多角的アプローチで沖の島地域の魅力を最大限に引き出し、離島地域の振興を進めていく。

問 鵜来島の砲台、防備衛所跡は戦争遺跡として認知されているが、戦争遺跡を残し、観光とタイアップした対策を考えてないかを問う。

答 砲台跡地の戦争遺跡を観光資源へ活用するためには、登山道の整備や維持管理、ツアーガイドの設置など多くの課題があり現実的には厳しいと考える。

問 鵜来島の医療体制や介護支援策の現状を問う。

答 市、県の保健師による健康相談や訪問指導、地域元氣クラブの月2回の支援、集落支援員の荷物運び、ごみ出し、見守り、住民による食材等買物支援、介護予防や生活支援を実施することで住み慣れた島で生活を続けていけるよう支援している。



今城 隆 議員

中谷防衛大臣就任祝い新聞広告の正当性を問う

問 2月18日付の高知新聞に、中谷防衛大臣就任祝いの広告が宿毛市及び宿毛市議会名入りで掲載された。市の広告費はどこから拠出されたか。また、市が広告掲載を決定した手続を問う。

答 市の一般会計から広告料1万3750円を支出した。高知新聞社から企画書が届き、協賛広告に関する企画課内決裁を経て、市長としても新聞社企画書も見せていただき決裁した。

問 宿毛市の名が記載され公費が使用されることで、公式に宿毛市中谷氏を政治的に支持しているように受け取られる可能性がある。この点を市長はどう考えるか問う。

答 高知県選出の国会議員が県・市町村のために活躍していただくことを期待し、一体となって応援するため、県内市町村全てが協賛していると承知している。

問 違法だと言う訳ではない。しかし、県は広告に入っていない。通常、市の広告は広報活動だが、この広告はどのような位置づけか問う。

答 大臣の就任は公的な立場として祝意を表明するもので、政治的支持を表明するものではない。あくまで公的な立場としての功績をたたえるものと理解している。新聞広告掲載は正当な行為と考えている。

問 気をつけて欲しいのは、公的儀礼としても公金なので、この広告が市民の利益にどう貢献するのか具体的な説明を問う。

答 中谷代議士の大任就任で、国防という形で頑張っていただけのこと、市民、国民の利益に資するものと理解している。

問 この広告を分析すると、中谷防衛大臣個人の政治的立